

# 東北地方 3 か月予報

( 1 0 月から 1 2 月までの天候見通し )

平成 2 2 年 9 月 2 2 日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。

1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、高い確率が 5 0 % です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。

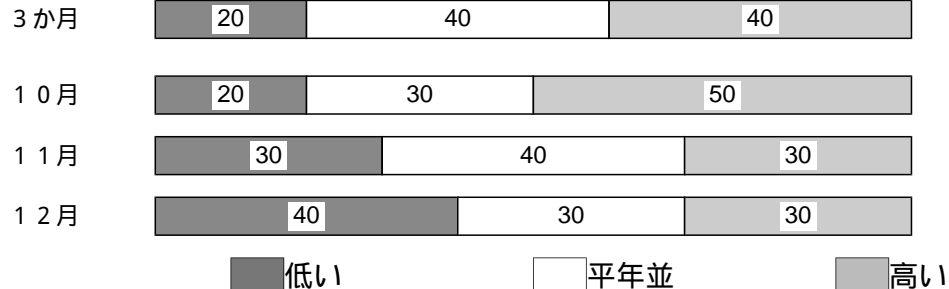
1 1 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

1 2 月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

## < 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 ( % ) >

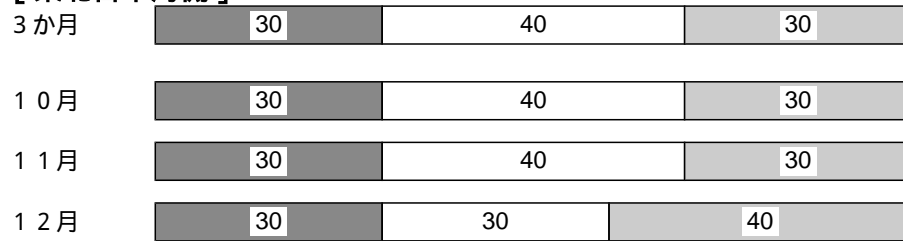
### < 気温 >

#### [ 東北地方 ]

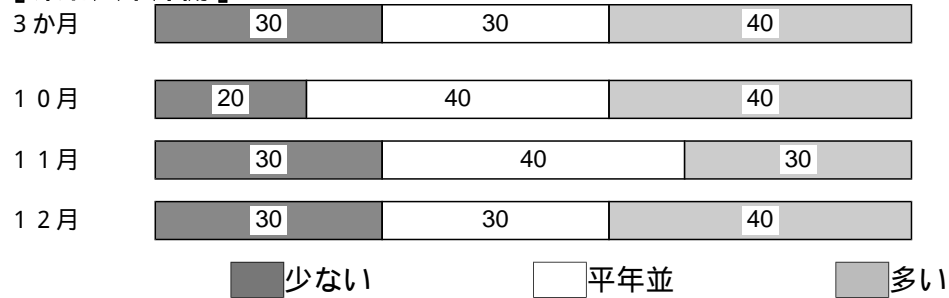


< < 降水量 > >

[ 東北日本海側 ]



[ 東北太平洋側 ]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月24日

3 か月予報：10月25日(月) 14時

10月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

## < 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ( )				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
青森	12.6	6.4	1.3	6.8	106.0	131.7	148.6	386.2	152.9	91.4	54.7	299.0
深浦	13.3	7.5	2.5	7.8	165.6	147.2	126.2	438.9	135.3	71.4	34.3	241.0
むつ	12.2	6.3	1.2	6.6	115.4	115.4	93.3	324.0	159.9	106.5	73.7	340.1
八戸	12.7	6.6	1.6	7.0	77.0	61.2	41.7	179.9	163.1	136.5	128.4	428.0
秋田	13.6	7.6	2.8	8.0	160.7	183.5	163.8	508.0	148.1	84.7	47.6	280.4
盛岡	11.8	5.7	0.8	6.1	97.8	93.1	64.5	255.4	149.0	118.8	104.4	372.2
大船渡	13.8	8.2	3.5	8.5	142.3	104.5	36.9	283.7	146.9	139.5	139.6	426.0
宮古	13.1	7.7	3.0	8.0	105.7	85.6	39.9	236.2	155.8	146.3	151.6	453.7
仙台	14.8	9.1	4.3	9.4	99.2	66.8	26.4	192.4	151.8	140.2	144.7	436.7
石巻	14.2	8.3	3.4	8.6	104.1	65.1	24.8	194.0	159.7	149.3	155.4	464.4
山形	13.2	7.2	2.4	7.6	76.0	80.8	77.2	234.0	131.1	99.6	85.1	315.8
新庄	12.3	6.2	1.4	6.6	151.9	195.4	210.9	558.2	103.6	62.1	37.3	203.0
酒田	14.7	9.0	4.3	9.3	173.7	223.9	201.9	602.2	143.1	80.4	44.8	268.3
福島	14.8	9.0	4.2	9.3	95.3	63.4	32.5	191.1	139.3	130.6	130.7	400.6
若松	13.2	7.0	1.9	7.4	77.6	73.3	83.3	234.1	119.9	88.3	72.0	280.3
白河	13.2	7.6	2.7	7.8	111.9	65.0	25.0	201.9	144.2	146.4	157.8	448.5
小名浜	16.1	10.8	6.1	11.0	153.1	87.7	35.0	275.8	155.3	160.2	184.8	500.3

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
気温平年差( )	東北地方	-0.6 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5
	東北日本海側	-0.6 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.5
	東北太平洋側	-0.4 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.6	-0.1 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5
降水量平年比(%)	東北地方	83 ～ 105	80 ～ 107	80 ～ 107	90 ～ 106
	東北日本海側	88 ～ 107	92 ～ 103	88 ～ 106	90 ～ 110
	東北太平洋側	63 ～ 113	68 ～ 111	69 ～ 116	87 ～ 103
日照時間平年比(%)	東北地方	97 ～ 103	96 ～ 106	97 ～ 103	99 ～ 102
	東北日本海側	97 ～ 101	95 ～ 106	90 ～ 107	98 ～ 105
	東北太平洋側	99 ～ 106	95 ～ 105	99 ～ 103	98 ～ 103

（３）接近する台風の平年値

	１０月	１１月	１２月
東北地方	0.3	0.0	0.0

## < 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

# 東北地方 3か月予報解説資料（10～12月）

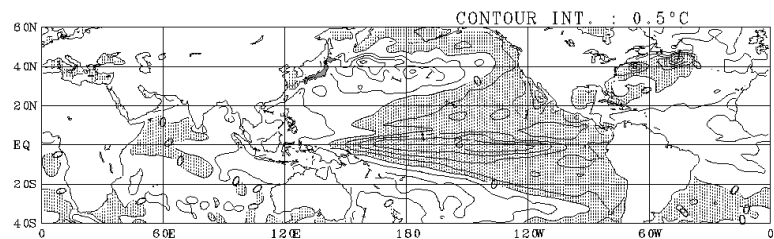
平成22年9月22日 仙台管区气象台

## 1. 向こう3か月の確率予報の特徴

10～12月	この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
10月	気温は、高い確率が50%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%、 東北日本海側で各階級の確率の偏りは小さい。
11月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
12月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。

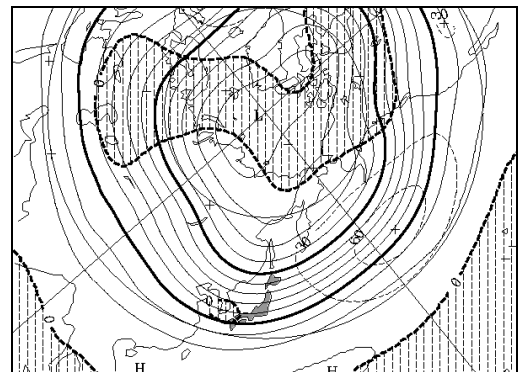
## 2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、中部から東部太平洋赤道域は明瞭な負偏差が予想されており、この夏に発生したラニーニャ現象が今予報期間中は持続する見込み。熱帯の降水量の予想(図略)では、ベンガル湾から南シナ海にかけて正偏差が見られ、この領域で対流活動(積乱雲



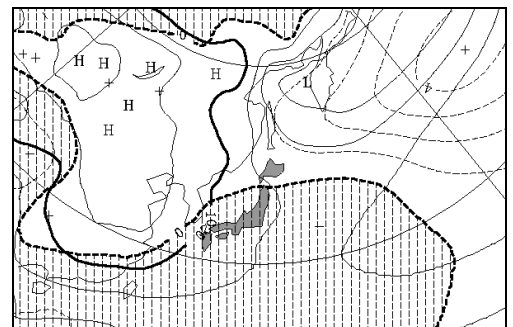
3か月平均の海面水温偏差の予想図  
等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差

の発生・発達など)が平年より活発な見込み。対流活動の分布に対応してジェット気流は期間の前半は平年より北を流れる。ユーラシア大陸から太平洋にかけて500hPa高度は広く正偏差が予想され(右中図)、3か月平均気温は高温傾向が予想される。ただし、日本付近には弱いながら負偏差が予想されており、東北地方にも強い寒気が南下する時期もある見込み。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図  
実線は等高度線(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応する。

海面気圧予想図(右下図)では、アリューシャン近海付近は明瞭な正偏差でアリューシャン低気圧は中心付近では弱い。本州をおおう負偏差域の中心は日本の東海上にあり、寒気を伴った低気圧がこの方面を通り、冬型の気圧配置が強まる時期がある見込み。



3か月平均の海面気圧と偏差の予想図  
実線は等圧線4hPa毎、点線は偏差1hPa毎。陰影部は負偏差

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、

**10月:** 天気は数日の周期で変わると予想される。日本の南岸は負偏差となっており、東北太平洋側では前線の影響を受けやすい見込み。

**11月:** 天気は数日の周期で変わると予想される。日本付近の気圧の偏差に大きな偏りはないが、一時冬型の気圧配置が強まる見込み。

**12月:** 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。日本の東海上を中心に強い負偏差となっており、寒気を伴った低気圧がこの方面を通り、冬型の気圧配置が強まる時期がある見込み。

## <参考資料>

### 平年の天気出現日数(日)

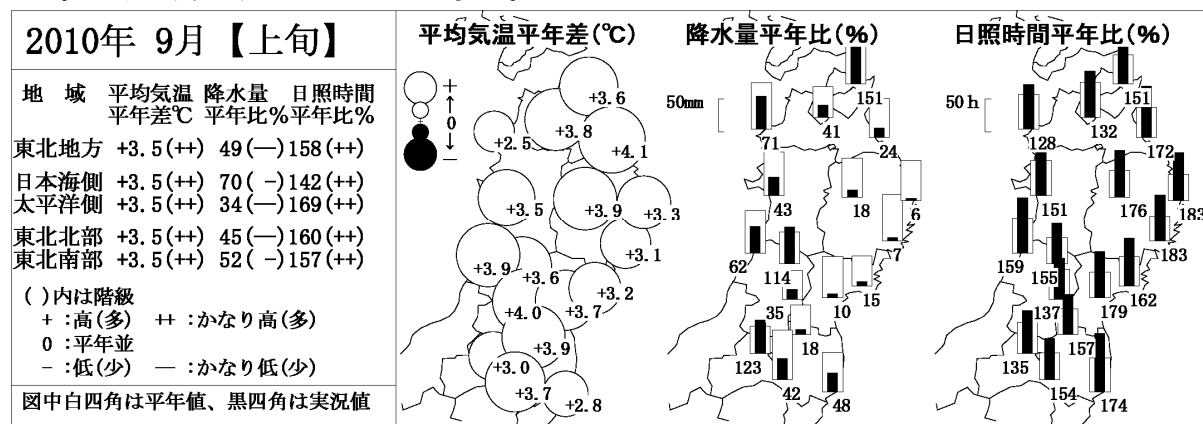
	青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
10月	17.0	13.2	16.3	13.9	16.7	10.6	17.5	7.7	14.8	9.6	16.0	7.3
11月	10.4	16.8	9.5	17.8	14.9	11.5	18.5	6.3	11.3	11.7	16.8	6.8
12月	5.6	21.2	4.2	21.5	14.5	11.2	19.6	4.3	10.1	13.5	17.7	6.0

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

### 3. 最近の天候経過

9月上旬：この期間、熱帯低気圧や前線の影響で曇りや雨となる日もあったが、高気圧におおわれて晴れの日が多かった。6日から7日にかけて東北地方を前線が南下し、秋田県で局地的大雨による浸水害、秋田県と宮城県で突風による被害が発生した。

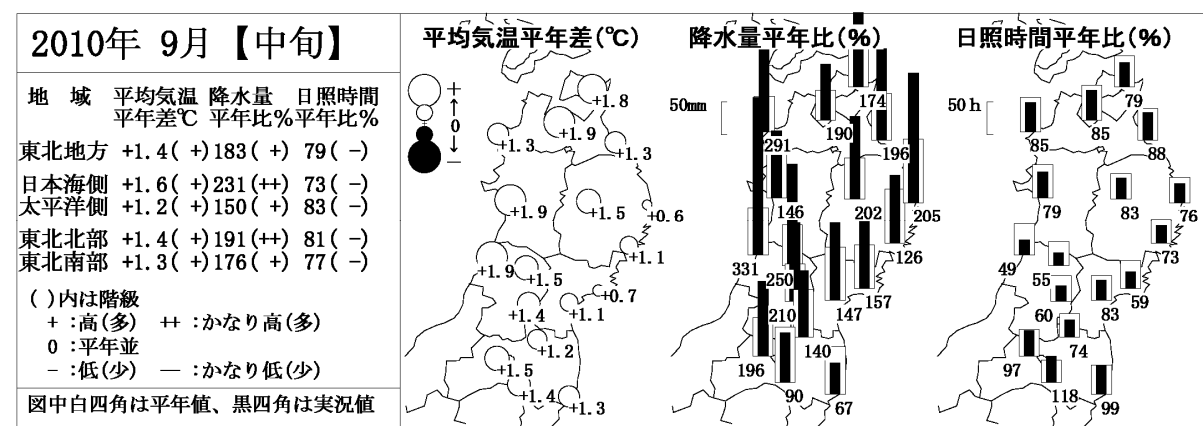
平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



9月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

9月中旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧におおわれて晴れた日もあった。11日から14日にかけては、低気圧が短い周期で東北地方を通過し、また前線が停滞したため各地で大雨となり、青森県、秋田県、山形県で浸水や山崖崩れ等による被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で少ない。

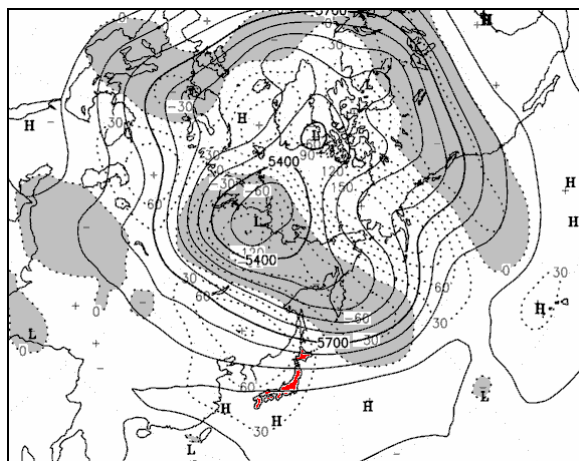


9月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

### 4. 今月の循環場の特徴

9月(20日まで)：500hPa 高度では、日本付近は明瞭な正偏差となっており、亜熱帯ジェット気流が平年より北へ偏っていたことや太平洋高気圧が平年より強かったことに対応している。

東北地方では、上旬は高気圧におおわれて晴れの日が多くなりかなりの高温となった。中旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなったが、気温は引き続き高かった。



9月1日～20日の平均500hPa高度  
実線は等高線(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。  
陰影部は負偏差。